

音楽アーティスト科 ヴォーカルコース 受講科目一覧 2年次

ヴォーカル総合専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	68	2	4
講義	表現Ⅱ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏実技Ⅱ	68	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	28	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 全コース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
著作物の定義や著作権者の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。							
到達目標							
音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	NHKスペシャル「知は誰のものか」映像視聴及び解説 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造とJASRACとの契約
【前期】 11～13回目	JASRACの成り立ちと自由化への流れ JASRACの功罪 音楽教室から著作権使用料を徴収することの是非について 【作文提出】
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施・前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
【後期】 18～20回目	CD制作に関する印税の仕組み レコード会社の収益について 原盤制作費とリクープラインについて
【後期】 21～24回目	インタラクティブ配信における印税の仕組み 動画投稿サイトに関する著作権について 放送・カラオケに関する著作権について
【後期】 25～27回目	演奏・レンタルに関する著作権について 音楽ビジネスの現状 【作文提出】 著作物の利用に関して 著作物の利用手続き、所有権と著作権の違いを理解する
【後期】 28～30回目	著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則に関しての理解を深める AIと著作権 ビデオ視聴
【後期】 31～34回目	AIと著作権 【作文提出】 テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施・後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と著作権ビジネスの構造について学びます。また、JASRACに関しても、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけ、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 後期では主に音楽ビジネスの根幹となる印税システムについての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につけるようにしてください。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルグループⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修	
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	鍵盤弾き語り、シンガーソングライター。 The 8th Music Revolution Hi-Gain大会、V3新人オーディション20th、など、多数のオーディションでグランプリ、ファイナリストに選出される。 2016佐賀年気球世界選手権、TV CM、企業CM、短編映画、への楽曲提供なども行なっている。					
授業概要						
多くの難易度の高い楽曲(GOSPEL・ミュージカル楽曲・POPS等)を通し、心の解放・ハーモニーへの理解、発声や歌唱法を学ぶ。 時にはリードボーカルのオーディションを行い、生徒同士で競争することによる技術向上を目的とする。						
到達目標						
・大人数の中で歌うために必要な知識や技術の習得。ハーモニー(ハモリ)を作ることの技術習得。						
・グループの一員としてステージに立ち、時にはchoirとして、時にはリードボーカルとしての歌唱法や立ち振る舞い、パフォーマンスを学ぶ。						
・ハモることへの不安がなくなる。						
・心を解放させ身体全体を使ってステージパフォーマンスができる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	パート分け(女子2パート、男子2パート) 1曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【前期】 4～7回目	2曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定 1曲目とともにLIVE WEEKに向けてパフォーマンス込みで練習。
【前期】 8～10回目	3曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定 1曲目とともにLIVE WEEKに向けてパフォーマンス込みで練習。
【前期】 11～13回目	4曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【前期】 14～17回目	前期まとめ (1～4曲目の復習) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱技術 / ハーモニー / パフォーマンス / チームワーク」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	5曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【後期】 21～24回目	6曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【後期】 25～27回目	7曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【後期】 28～30回目	8曲目:曲の仕込み(曲を聴く、パートごとに音振り、アンサンブル) リードボーカルのある曲の場合、最終週にリードボーカルオーディション、リードシンガー決定
【後期】 31～34回目	過去にやった曲の中からLIVE WEEKに向けて選曲、復習、パフォーマンス込みで練習 ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱技術 / ハーモニー / パフォーマンス / チームワーク」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱技術 / ハーモニー / パフォーマンス / チームワーク」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	グループボーカルを経験することにより、ハーモニーに対する不安感を拭えます。また、普段は聴かないようなGOSPEL等を聴くことにより、リズム感や発声法を学ぶこともでき、大人数で声を出すことにより、心の解放や私たちの声を持つパワーを直接感じることもできます。この授業を通して様々なジャンルに触れ、多くのことを学びきっかけにしましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	セルフプロデュースⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	音楽大学ミュージカル科卒業。声楽歴25年、バレエ・ジャズ歴15年、「タイムフライズ」・「ゴースト」・「魔法のオルゴール」など多数出演。 水樹奈々アリーナコンサート、白寿ホールコンサート、その他コンサートMCやレコーディング、TBSドラマなども出演。 歌唱・ボイストレーニング講師として、AKB48、スターダストプロモーション福岡・ばってん少女隊のボーカルコーチ、子役・大手劇団員指導なども行う。					
授業概要						
・ヴォーカリストとしての自身をプロデュースしていく方法を、歌詞や楽曲制作の過程で学んでいく。 ・サウンドクリエイターコースの生徒とのコラボレーションし、楽曲を制作する過程で必要な楽曲構築の為のコミュニケーションを行う。						
到達目標						
・ヴォーカリストとして自身の伝えたい感情や世界観などを歌詞・楽曲制作作業を通して、アーティストとしての表現力や技術を習得する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	自身の将来像再確認・作成予定歌詞の方向性確認・サウンドクリエイターチームと打合せ
【前期】 4～7回目	自己プロデュース方法①・歌詞制作作業
【前期】 8～10回目	自己プロデュース方法②・歌詞制作作業
【前期】 11～13回目	楽曲制作進捗確認・歌詞作成作業
【前期】 14～17回目	前期のまとめ ■前期試験:試験により到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	自己プロデュース方法③・歌詞制作作業
【後期】 21～24回目	自己プロデュース方法④・歌詞制作作業
【後期】 25～27回目	自己プロデュース方法④・歌詞制作作業
【後期】 28～30回目	楽曲仕上げ・可能であればレコーディング
【後期】 31～34回目	後期まとめ・楽曲発表 ■後期試験:試験により到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	将来プロとして活動していくには、自身をどう表現し様々な方に作品を聴いて貰い価値を示していくか“自己プロデュース力”が大切になります。その為に必要な準備を行い、実践していきましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルパフォーマンスⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	表現Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐					
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。 歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。 黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。 様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
課題曲・選択曲(ジャンル分け)を使って表現とは何かを学ぶ。曲が生まれた時代背景・歴史を調べる。作者の人生を調べつつ曲の奥にある世界を読み取る。曲を使って自分の世界を投影させる。自分のイメージを具現化する。楽曲アレンジの具体的アイディアを練りだし、バンドメンバーやアレンジャーとコミュニケーションをとる。						
到達目標						
・楽曲をそのまま歌うのではなく、理解を深め、本人にしか歌えない曲に仕上げる。 ・明確なイメージを持ち、具現化する力をつける。 ・選曲、理解、アレンジ、舞台演出、パフォーマンス、すべてをゼロから作り上げることができる。 ・客観的視点を持ち、エンターテインメント性をみすえてパフォーマンスすることができる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲① 歴史・時代背景・自分の世界観との共有
【前期】 4～7回目	課題曲① イメージの具現化。アレンジ、メンバー人選、歌唱演習
【前期】 8～10回目	選択曲① 歴史・時代背景・自分の世界観との共有
【前期】 11～13回目	選択曲② イメージの具現化。アレンジ、メンバー人選、歌唱演習
【前期】 14～17回目	前期まとめ/面談 ■前期試験：課題曲の歌唱により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティー/ コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	自己制作①
【後期】 21～24回目	自己制作②
【後期】 25～27回目	自己制作③
【後期】 28～30回目	自己制作④
【後期】 31～34回目	最終まとめ/ステージ発表 ■後期試験：課題曲の歌唱により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティー/ コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティー/ コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	「ただ歌う」「その通り歌う」は、卒業しましょう。曲の奥にある世界を深く紐解くと、その曲の魅力を発見できて自分の表現力も同時に上がります。ただ単に上手なヴォーカルではなく、心の深いところに響き何度でも聞きたくなるヴォーカリストになりましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルテクニックⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡を中心にヴォイストレーナーとして、音楽学校や個人レッスン等で幅広く活動中。 ハリウッド式の発声法・トレーニングを採用し、多くのヴォーカリストへ歌唱力・表現力向上の為の技術指導を行う。				
授業概要					
1年時に身につけた発声のメカニズム、歌唱に必要なテクニックを実際のボーカリストたちがどのように使用し歌唱に繋げているかを解析し、生徒自身の表現に活かす。					
到達目標					
・1年時に身につけた発声スキルを表現力としてパフォーマンスに活かす。 ・1年時に身につけたスキルを持って、生徒自身の持つイメージによる表現力を歌声として歌唱に表出させること。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎発声練習(1年時の復習)／エッジボイス
【前期】 4～7回目	ミドルボイス強化／共鳴の変化／ピッチベンド
【前期】 8～10回目	シンガーボイスアナライズ1／ビブラート
【前期】 11～13回目	邦楽シンガーボイスアナライズ／ビブラート
【前期】 14～17回目	好きなアーティストのボイスアナライズ1(有名シンガーを題材にどのような音色で歌っているかを分析) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱への理解度 / ボイステクニック / 基礎発声力の向上」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	シンガーボイスアナライズ／クライミング
【後期】 21～24回目	シンガーボイスアナライズ／トゥワング
【後期】 25～27回目	ボイスアナライズ／ヒーカップ
【後期】 28～30回目	総復習
【後期】 31～34回目	■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱への理解度 / ボイステクニック / 基礎発声力の向上」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱への理解 / ボイステクニック / 基礎発声力の向上」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年時に学んだ音楽のプロとして必要な思考をさらに発展させ、より高度な表現方法を自然なパフォーマンスとして使用できるように定着させていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイストレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。 歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。 黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。 様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
歌唱の基礎、呼吸や姿勢、発声の際に使う体の使い方を学び、ピッチ、音価の正確性を高める。また、手拍子や体を使いリズム感をしっかりと養い、歌唱の際に表現に集中できるようにする。					
到達目標					
・呼吸法の基礎を習得。 ・発声の際の姿勢を習得。 ・骨盤底筋、インナーマッスルを強化し、発声の安定性を獲得する。 ・力を入れずに発声できるようになり、自然な姿勢でリズムに乗れるようになる。 ・歌の中で使える滑舌を習得し、言葉が伝わる歌唱ができるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	各々の発声の状態、問題を確認。トレーニングメニュー説明＆実践。ロングトーンやスケールを使い基本的な発声練習。
【前期】 4～7回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。表情筋トレーニング。チェストボイスを中心に、トレーニング。
【前期】 8～10回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。ヘッドボイスを中心にトレーニング。
【前期】 11～13回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。声区融合トレーニング
【前期】 14～17回目	前期テスト対策。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
【後期】 18～20回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。メトロノームを使い任意の曲をアカペラで歌唱。調声、リズムトレーニング。
【後期】 21～24回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。表情筋トレーニング。
【後期】 25～27回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 28～30回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 31～34回目	通年のまとめ。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声に関する用語、仕組み/発声 / リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声は筋トレです。フィジカルをしっかりと鍛え、自分の内なる声を引き出し、ステージで何の不自由もなく歌えるようになりましょう。う
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルディレクションⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	KAN、浜崎あゆみ、林原めぐみなど様々なアーティストのバックコーラスやレコーディング制作に携わる。 23歳の時にアニメセイバーマリオネットact5エンディング「風の詩を聴きながら」でメジャーリリース。 その後ヴォイストレーナーとして多数アーティスト(元生徒はDAIGO、太田在etc)の指導を行う。 近年はハウスバンド歌手として毎週末stage歌唱10年、DISCO DJうらりーな活動2年、演劇ミュージカル出演活動5年。						
授業概要							
自身のアーティスト性を深く追求し、何をすべきかを考えてひとつずつ明確にしてゆく。必要な技術を得るために練習して録音。パフォーマンスをしていく。							
到達目標							
設定した具体的な目標にあう曲を前期で動画撮影1曲。後期で動画撮影1曲仕上げる。 ※オリジナルでも、カバーでも構いません。ファーストテイク的なもの。バンドでの撮影も。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	自身の良いところ、売りになる所を探求。メンバーとディスカッション。まず、定番曲を歌ってみる。例マリーゴールド。特徴を踏まえて、まず何を形にするのかを決定する。用意すべき音源を確認準備。どんなものがありか無しかの話など音楽家としての当たり前の知識を学ぶ。□
【前期】 4～7回目	決定した曲を録音。他の人の録音の仕方も見て聞いて手順を学ぶ。セルフプロデュース力を身につける。
【前期】 8～10回目	自分で決めた1曲目課題曲をよくよく聴き、次の課題曲を決める。録音。
【前期】 11～13回目	2曲のうち1曲を選び、動画を撮影してみる。
【前期】 14～17回目	編集について学び、足りなかった事を確認して後期に何をしていくのかを決める。
【後期】 18～20回目	人が自分に何を求めているのかを考えて、選曲。オリジナルでも可。
【後期】 21～24回目	課題曲録音。他の人のディレクションを試みる。録音の仕方や手順をこなす。
【後期】 25～27回目	課題曲を変えても良い。コーラスまで録れたらとても良い。新しい試みの選曲で録音してみるのも可。他の人のディレクションをする。
【後期】 28～30回目	動画撮影、前期の動画撮影で足りなかったこと、本当はやりたかったことなどあれば試してみる。撮影角度。
【後期】 31～34回目	編集にチャレンジ。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	録音録画をして自分自身の良い所悪い所を確認して、それを踏まえて一つの完成動画を作ることはとても大変です。が、それを楽しみながら発信していくのが音楽家です。ひとつずつ焦らずアーティストな自分を作っていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌唱実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	・Back Number、中村 正人(DREAMS COME TRUE)等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・自身もシンガーソングライターとして九州各地でライブ活動を行う。					
授業概要						
自ら選んだ楽曲を歌いこみながらテクニックをきめ細やかに、また感情表現をより深めながらシンガーとしての自らをワークショップスタイルの中で確立していきます。生徒それぞれにまだ獲得できていない表現方法を課題曲として与え、獲得に導きます。						
到達目標						
・与えられた課題曲に対し、生徒自身がその楽曲に合う表現方法を考慮しパフォーマンスすることができるようになる。						
・既存曲のカバーをする際も、オリジナル曲を自身でパフォーマンスする際も、オーディエンスに届く歌唱、音色(声色)選びができるような思考を定着させる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲1(日本語の楽曲で自由選択)
【前期】 4～7回目	課題曲2(日本語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 8～10回目	課題曲3(英語の楽曲で自由選択)
【前期】 11～13回目	課題曲4(英語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 14～17回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～4の中で1曲をライブシミュレートパフォーマンス) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	レパートリー1(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 21～24回目	レパートリー2(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 25～27回目	レパートリー3(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 28～30回目	レパートリー4(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 31～34回目	模擬ライブパフォーマンス(課題曲1～4&レパートリー1～4の中から数曲を選択し一定時間、MCも含め20分ほどのライブパフォーマンスを構築する) ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	表現の幅、歌唱における様々なテクニックなど、さらにより高度なものへと押し上げ、自分自身がどのように表現したいのかをオーディエンスに確実に伝えることができるように磨き上げていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。 歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。 黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。 様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
課題曲に内包されているテクニック、リズム、ハーモニーなどの類例を自らの経験値として取り込みながらバンドアンサンブルについて理解を深める。 3週で楽曲が変更。ライブイベントへ向けてのリハーサルも兼ね、パフォーマンス力、ステージング力の向上をもはかっていく。						
到達目標						
・広い声域を使い、ヴォーカリストとしてレベルアップを目指す。						
・自分の表現の幅を広げて、ライブステージを楽しむ。						
・1年次より細かいリズムや音程もしっかりとて歌う。						
・曲を理解しエンターテインメントを習得する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲①アップテンポ女性曲、POPSリズムに乗りペース配分を考えてメリハリをつける。
【前期】 4～7回目	課題曲②アップテンポ男性曲ROCK、滑舌よくリズムにのり叫ぶところは叫ぶ、ワイドな歌唱。
【前期】 8～10回目	課題曲③ミドルテンポ女性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 11～13回目	課題曲④ミドルテンポ男性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 14～17回目	課題曲①～④の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねる。 ■前期試験：課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	課題曲⑤ミドルバラッド女性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 21～24回目	課題曲⑥ミドルバラッド男性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 25～27回目	課題曲⑦6/8などのバラッド曲、難しいリズム、3連を感じて歌う。
【後期】 28～30回目	課題曲⑧7/8や5/8が入る曲、キメなどをしっかりおとさずに巧みにのって歌う。
【後期】 31～34回目	課題曲⑤～⑧の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねて発表。 ■後期試験：課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	エンターテイナーなヴォーカリストを目指して技術を高めていく授業です。ステージで魅力を出すためにがんばりましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブ実習パフォーマンスⅡ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。 歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。 黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。 様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。					
授業概要						
課題曲に内包されているテクニック、リズム、ハーモニーなどの類例を自らの経験値として取り込みながらバンドアンサンブルについて理解を深める。 3週で楽曲が変更。ライブイベントへ向けてのリハーサルも兼ね、パフォーマンス力、ステージング力の向上をもはかっていく。 ※アンサンブル基礎Ⅱの二コマ目として実施						
到達目標						
・広い声域を使い、ヴォーカリストとしてレベルアップを目指す。						
・自分の表現の幅を広げて、アンサンブル基礎Ⅱに基づき、ライブステージを楽しむ。						
・1年次より細かいリズムや音程もしっかりとて歌う。						
・曲を理解しエンターテインメントを習得する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲①アップテンポ女性曲、POPSリズムに乗りペース配分を考えてメリハリをつける。
【前期】 4～7回目	課題曲②アップテンポ男性曲ROCK、滑舌よくリズムにのり叫ぶところは叫ぶ、ワイドな歌唱。
【前期】 8～10回目	課題曲③ミドルテンポ女性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 11～13回目	課題曲④ミドルテンポ男性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 14～17回目	課題曲①～④の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねる。 ■前期試験：課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	課題曲⑤ミドルバラッド女性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 21～24回目	課題曲⑥ミドルバラッド男性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 25～27回目	課題曲⑦6/8などのバラッド曲、難しいリズム、3連を感じて歌う。
【後期】 28～30回目	課題曲⑧7/8や5/8が入る曲、キメなどをしっかりおとさずに巧みにのって歌う。
【後期】 31～34回目	課題曲⑤～⑧の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねて発表。 ■後期試験：課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	エンターテイナーなヴォーカリストを目指して技術を高めていく授業です。ステージで魅力を出すためにがんばりましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・セイカ食品 シロクマ、ヴァーナル化粧品、アサカワ引越しセンター等のテレビCMコール ・シンガーソングライターとして、精力的にライブ活動を行い、CDもリリースしている。						
授業概要							
基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。							
到達目標							
・エンターティメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。							
・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。							
・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。							
・チームワーク、協調性を養います。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作り上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	・セイカ食品 シロクマ、ヴァーナル化粧品、アサカワ引越しセンター等のテレビCMコール ・シンガーソングライターとして、精力的にライブ活動を行い、CDもリリースしている。				

授業概要
オリジナルワークⅡ同様、基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジュールリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。

到達目標
・オリジナルワークⅡでの内容を更に応用し制作していきます。
・エンターティメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。
・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。
・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。
・チームワーク、協調性を養います。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジュールリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジュールリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティブ性も存分に発揮してください。
備考	

音楽アーティスト科 ヴォーカルコース 受講科目一覧 2年次

ネットシンガー専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	68	2	4
講義	表現Ⅱ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏実技Ⅱ	68	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	28	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 全コース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
著作物の定義や著作権者の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。							
到達目標							
音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	NHKスペシャル「知は誰のものか」映像視聴及び解説 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造とJASRACとの契約
【前期】 11～13回目	JASRACの成り立ちと自由化への流れ JASRACの功罪 音楽教室から著作権使用料を徴収することの是非について【作文提出】
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施・前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
【後期】 18～20回目	CD制作に関する印税の仕組み レコード会社の収益について 原盤制作費とリクープラインについて
【後期】 21～24回目	インタラクティブ配信における印税の仕組み 動画投稿サイトに関する著作権について 放送・カラオケに関する著作権について
【後期】 25～27回目	演奏・レンタルに関する著作権について 音楽ビジネスの現状 【作文提出】 著作物の利用に関して 著作物の利用手続き、所有権と著作権の違いを理解する
【後期】 28～30回目	著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則に関しての理解を深める AIと著作権 ビデオ視聴
【後期】 31～34回目	AIと著作権 【作文提出】 テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施・後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と著作権ビジネスの構造について学びます。 また、JASRACに関しても、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけ、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 後期では主に音楽ビジネスの根幹となる印税システムについての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につけるようにしてください。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ネットシンガーⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡の音楽専門学校を卒業し、ゴスペルフェスティバルや博多どんたくをはじめ多数のイベントに出演。 Chirolynさん(hide withspread beaver)のソロツアー福岡公演にてオープニングアクトとして出演。 福岡が舞台の特撮ヒーロー作品「ドゲンジャーズ」のリアルイベントにてコーラスを担当。 Imgramox Musicからカバー楽曲「絶対敵対メチャキライヤー」でメジャーデビューし、ネットでのライブ配信やリアルでのライブ活動も行う。				
授業概要					
動画収録の際に必要な歌唱表現力を身に付ける。					
到達目標					
・動画への収録を意識した歌唱表現力。					
・曲に沿った演出表現が出来る。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	「After Effects 基本操作」シーケンスの設定・図形の描画・テキスト入力 等。
【前期】 4～7回目	「モーショングラフィックス」基本的な動きを制作。
【前期】 8～10回目	「Illustrator 基本操作」図形・柄・複製 等。
【前期】 11～13回目	「キャラクター制作」Illustratorでオリジナルのキャラクターを1から制作。レイヤーを理解し、パーツごとに分ける。
【前期】 14～17回目	「背景制作・ループ」Illustratorで背景も制作し、BGMと共にループの動きもつける。 ■前期試験:「キャラクターアニメーション」パーツすべてに的確にリグを打ち、キャラクターを動かすことができる。
【後期】 18～20回目	「オリジナルCM①」自身の私物に対し、架空のCMを制作。コメントやカットも考える。
【後期】 21～24回目	「オリジナルCM②」効果的なエフェクトをつける。
【後期】 25～27回目	「ボーカロイドMV①」After Effects内の3Dカメラを理解し、画面構成を考える。
【後期】 28～30回目	「ボーカロイドMV②」1枚絵をPhotoshopでレイヤー分けし、After Effectsで動きをつける。
【後期】 31～34回目	「ボーカロイドMV③」文字スタイルやエフェクトを自身で作り、雰囲気に沿った表現ができる。 ■後期試験:「アイキャッチ制作」5秒程度のアニメーションを制作。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	動画は近年特に身近になったコンテンツです。普段何気なく観ている動画も、実際に作ってみると地道な作業でいっぱいです。観る側から、制作し発信していく立場になる皆さんの為にサポートをしていきます。複数ソフトの基本操作からフレームレート等の知識面もしっかり押さえていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	サイトシンギングⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	KAN、浜崎あゆみ、林原めぐみなど様々なアーティストのバックコーラスやレコーディング制作に携わる。 23歳の時にアニメセイバーマリオネットact5エンディング「風の詩を聴きながら」でメジャーリリース。 その後ヴォイストレーナーとして多数アーティスト(元生徒はDAIGO、太田在etc)の指導を行う。 近年はハウスバンド歌手として毎週末stage歌唱10年、DISCO DJうらりーな活動2年、演劇ミュージカル出演活動5年。				
授業概要					
歌のメロディを支えているコードや他の楽器の知識を深める。 ダイアトニックコード聞き取り、作詞、作曲をする。					
到達目標					
・曲の構成を理解してメロディとコードの関係を深く知る。 ・メロディ及びハーモニーの読譜ができるようにする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	123456メロディ発声、カットタイム、ビブラート、マイナースケール、リズムトレーニング。
【前期】 4～7回目	7度インターバル、ハーモニー歌唱、オリジナルメロ歌詞作成。
【前期】 8～10回目	3連と8分の紹介、16リズムトレーニング、ボリュームと共鳴、メジャーコードについて。
【前期】 11～13回目	マイナーメロディー歌唱、読譜トレーニング、マイナーインターバル。
【前期】 14～17回目	3声ハモリ、コード進行作成、オクターブメロディ発声、6/8 ■前期試験：筆記試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	声の響かせ方、マイナーコードの紹介、メジャーとマイナーの練習、ハモリ歌唱。
【後期】 21～24回目	完全オリジナル作成、オクターブメロディー、3連と4分について。
【後期】 25～27回目	マイクテクニック、Dim、Augのコードの紹介、インターバル、オリジナル作成。
【後期】 28～30回目	メロディー読譜練習、リズムチェック、サイエンステスト、ピッチチェック。
【後期】 31～34回目	インターバルクイズ、ハモリ練習、オリジナルレコーディング。 ■後期試験：筆記試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	コードとメロディーを理解してオリジナル曲を作り歌えるようにする授業です。ハモリも聴きとれる力を身につけます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカル編集技術Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	表現Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル(ネットシンガー専攻)					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐					
担当講師 実務経歴	幼少の頃から本格的にクラシックピアノを20年間学び、コンクール等で多数受賞。 現在は自身で作詞作曲をジャンル問わず行いながら、鍵盤などで多くの演奏サポートや制作に携わる。 これまでに発表した作詞・作曲作品、またアレンジした楽曲は80曲以上ある。					
授業概要						
ヴォーカルレコーディングの基礎やオーディオデータの編集を学び、作品のクオリティアップを目的とする。						
到達目標						
・正しくマイクを扱えるようになる。 ・適切なレコーディング環境作りを習得する。 ・DAWを使いピッチ修正やタイミング補正などできるようになる。 ・ヴォーカルミックスをできるようになる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ヴォーカルレコーディングにおいて、マイクの基礎知識やレコーディング方法を学習 実際にレコーディングする楽曲の準備(歌唱も含む)
【前期】 4～7回目	REC① 録音したデータを元に、オーディオ編集やヴォーカルミックスを行う。
【前期】 8～10回目	REC② 録音したデータを元に、オーディオ編集やヴォーカルミックスを行う。
【前期】 11～13回目	REC③ 録音したデータを元に、オーディオ編集やヴォーカルミックスを行う。
【前期】 14～17回目	前期内容の復習を行い、歌ってみた等の作品を完成させる。
【後期】 18～20回目	これまでにレコーディングしたデータを使い、アレンジやミックスの観点からクオリティアップを目指す。
【後期】 21～24回目	REC④ 録音したデータを元に、オーディオ編集やヴォーカルミックスを行う。
【後期】 25～27回目	REC⑤ 録音したデータを元に、オーディオ編集やヴォーカルミックスを行う。
【後期】 28～30回目	REC⑥ 録音したデータを元に、オーディオ編集やヴォーカルミックスを行う。
【後期】 31～34回目	これまでの内容を復習し、歌ってみた等の作品を完成させる。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティ / コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	授業を通して、作品作りや発信する楽しさを知って欲しいです。また、自分自身の声をさらに好きになれるよう頑張しましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルテクニックⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	福岡を中心にヴォイストレーナーとして、音楽学校や個人レッスン等で幅広く活動中。 ハリウッド式の発声法・トレーニングを採用し、多くのヴォーカリストへ歌唱力・表現力向上の為の技術指導を行う。				
授業概要					
1年時に身につけた発声のメカニズム、歌唱に必要なテクニックを実際のボーカリストたちがどのように使用し歌唱に繋げているかを解析し、生徒自身の表現に活かす。					
到達目標					
・1年時に身につけた発声スキルを表現力としてパフォーマンスに活かす。 ・1年時に身につけたスキルを持って、生徒自身の持つイメージによる表現力を歌声として歌唱に表出させること。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎発声練習(1年時の復習)／エッジボイス
【前期】 4～7回目	ミドルボイス強化／共鳴の変化／ピッチベンド
【前期】 8～10回目	シンガーボイスアナライズ1／ビブラート
【前期】 11～13回目	邦楽シンガーボイスアナライズ／ビブラート
【前期】 14～17回目	好きなアーティストのボイスアナライズ1(有名シンガーを題材にどのような音色で歌っているかを分析) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱への理解度 / ボイステクニック / 基礎発声力の向上」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	シンガーボイスアナライズ／クライミング
【後期】 21～24回目	シンガーボイスアナライズ／トゥワング
【後期】 25～27回目	ボイスアナライズ／ヒーカップ
【後期】 28～30回目	総復習
【後期】 31～34回目	■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱への理解度 / ボイステクニック / 基礎発声力の向上」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱への理解 / ボイステクニック / 基礎発声力の向上」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年時に学んだ音楽のプロとして必要な思考をさらに発展させ、より高度な表現方法を自然なパフォーマンスとして使用できるように定着させていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイストレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。 歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。 黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。 様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
歌唱の基礎、呼吸や姿勢、発声の際に使う体の使い方を学び、ピッチ、音価の正確性を高める。また、手拍子や体を使いリズム感をしっかりと養い、歌唱の際に表現に集中できるようにする。					
到達目標					
・呼吸法の基礎を習得。 ・発声の際の姿勢を習得。 ・骨盤底筋、インナーマッスルを強化し、発声の安定性を獲得する。 ・力を入れずに発声できるようになり、自然な姿勢でリズムに乗れるようになる。 ・歌の中で使える滑舌を習得し、言葉が伝わる歌唱ができるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	各々の発声の状態、問題を確認。トレーニングメニュー説明＆実践。ロングトーンやスケールを使い基本的な発声練習。
【前期】 4～7回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。表情筋トレーニング。チェストボイスを中心に、トレーニング。
【前期】 8～10回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。ヘッドボイスを中心にトレーニング。
【前期】 11～13回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。声区融合トレーニング
【前期】 14～17回目	前期テスト対策。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
【後期】 18～20回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。メトロノームを使い任意の曲をアカペラで歌唱。調声、リズムトレーニング。
【後期】 21～24回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。表情筋トレーニング。
【後期】 25～27回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 28～30回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 31～34回目	通年のまとめ。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声に関する用語、仕組み/発声 / リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声は筋トレです。フィジカルをしっかりと鍛え、自分の内なる声を引き出し、ステージで何の不自由もなく歌えるようになりましょう。う
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルディレクションⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐					
担当講師 実務経歴	KAN、浜崎あゆみ、林原めぐみなど様々なアーティストのバックコーラスやレコーディング制作に携わる。 23歳の時にアニメセイバーマリオネットact5エンディング「風の詩を聴きながら」でメジャーリリース。 その後ヴォイストレーナーとして多数アーティスト(元生徒はDAIGO、太田在etc)の指導を行う。 近年はハウスバンド歌手として毎週末stage歌唱10年、DISCO DJうらりーな活動2年、演劇ミュージカル出演活動5年。					
授業概要						
自身のアーティスト性を深く追求し、何をすべきかを考えてひとつずつ明確にしてゆく。必要な技術を得るために練習して録音。パフォーマンスをしていく。						
到達目標						
設定した具体的な目標にあう曲を前期で動画撮影1曲。後期で動画撮影1曲仕上げる。 ※オリジナルでも、カバーでも構いません。ファーストテイク的なもの。バンドでの撮影も。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	自身の良いところ、売りになる所を探求。メンバーとディスカッション。まず、定番曲を歌ってみる。例マリーゴールド。特徴を踏まえて、まず何を形にするのかを決定する。用意すべき音源を確認準備。どんなものがありか無しかの話など音楽家としての当たり前の知識を学ぶ。□
【前期】 4～7回目	決定した曲を録音。他の人の録音の仕方も見て聞いて手順を学ぶ。セルフプロデュース力を身につける。
【前期】 8～10回目	自分で決めた1曲目課題曲をよくよく聴き、次の課題曲を決める。録音。
【前期】 11～13回目	2曲のうち1曲を選び、動画を撮影してみる。
【前期】 14～17回目	編集について学び、足りなかった事を確認して後期に何をしていくのかを決める。
【後期】 18～20回目	人が自分に何を求めているのかを考えて、選曲。オリジナルでも可。
【後期】 21～24回目	課題曲録音。他の人のディレクションを試みる。録音の仕方や手順をこなす。
【後期】 25～27回目	課題曲を変えても良い。コーラスまで録れたらとても良い。新しい試みの選曲で録音してみるのも可。他の人のディレクションをする。
【後期】 28～30回目	動画撮影、前期の動画撮影で足りなかったこと、本当はやりたかったことなどあれば試してみる。撮影角度。
【後期】 31～34回目	編集にチャレンジ。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	録音録画をして自分自身の良い所悪い所を確認して、それを踏まえて一つの完成動画を作ることはとても大変です。が、それを楽しみながら発信していくのが音楽家です。ひとつずつ焦らずアーティストな自分を作っていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌い手実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル(ネットシンガー専攻)					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐					
担当講師 実務経歴	福岡の音楽専門学校を卒業し、ゴスペルフェスティバルや博多どんたくをはじめ多数のイベントに出演。 Chirolynさん(hide withspread beaver)のソロツアー福岡公演にてオープニングアクトとして出演。 福岡が舞台の特撮ヒーロー作品「ドゲンジャーズ」のリアルイベントにてコーラスを担当。 Imgramox Musicからカバー楽曲「絶対敵対メチャキライヤー」でメジャーデビューし、ネットでのライブ配信やリアルでのライブ活動も行う。					
授業概要						
自ら選んだ楽曲を歌いこみながらテクニックをきめ細やかに、また感情表現をより深めながらシンガーとしての自らをワークショップスタイルの中で確立していきます。生徒それぞれにまだ獲得できていない表現方法を課題曲として与え、獲得に導く。						
到達目標						
・与えられた課題曲に対し、生徒自身がその楽曲に合う表現方法を考慮しパフォーマンスすることができるようになる。						
・既存曲のカバーをする際も、オリジナル曲を自身でパフォーマンスする際も、オーディエンスに届く歌唱、音色(声色)選びができるような思考を定着させる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲1(日本語の楽曲で自由選択)
【前期】 4～7回目	課題曲2(日本語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 8～10回目	課題曲3(英語の楽曲で自由選択)
【前期】 11～13回目	課題曲4(英語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 14～17回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～4の中で1曲をライブシミュレートパフォーマンス) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	レパートリー1(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 21～24回目	レパートリー2(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 25～27回目	レパートリー3(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 28～30回目	レパートリー4(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 31～34回目	模擬ライブパフォーマンス(課題曲1～4 & レパートリー1～4の中から数曲を選択し一定時間、MCも含め20分ほどのライブパフォーマンスを構築する) ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	表現の幅、歌唱における様々なテクニックなど、さらにより高度なものへと押し上げ、自分自身がどのように表現したいのかをオーディエンスに確実に伝えることができるように磨き上げていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画配信テクニックⅡ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル(ネットシンガー専攻)				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	俳優歴8年。舞台、CM、ドラマ等多数出演。また所属劇団の広報用映像の制作、編集を自身で行うと共に、ゲーム会社のCM編集、YouTuberの動画編集の依頼を受けるなど映像クリエイターとしても活動。その経験を活かし実践指導を行う。				

授業概要

インターネット上で活動するための演者としてのトークスキル、自己プロデューススキルなどを学ぶ。

到達目標

- ・動画編集に必要なPC技術を学ぶ。
- ・動きを絵コンテから考えることができる。
- ・曲に沿った演出表現が出来る。
- ・必要な素材の選定判断を身に付ける。
- ・画面の中で活動するとしても、求められるのは結局、人間力です。愛される人、応援される人を一緒に目指しましょう。

授業計画・内容

【前期】 1～3回目	動画配信者、インフルエンサーだけでなく、表現者に求められる考え方
【前期】 4～7回目	演者としてのトークスキルを様々なワークやゲームを通して楽しく身につける 「SNS用動画制作①」自身の宣伝用動画としてショート作品を制作。
【前期】 8～10回目	演者としてのトークスキルを様々なワークやゲームを通して楽しく身につける 「SNS用動画制作②」効果的なエフェクトをつける。
【前期】 11～13回目	SNSマーケティングの入門的なこと、自分自身がコンテンツを作るものとして必要な考え方
【前期】 14～17回目	前期の復習・確認 ■前期試験：バラエティゲームなどをしながら、演者としてのトークスキル、コミュニケーション能力、求められる考え方を見る
【後期】 18～20回目	自分がV-Tuberとして活動することを想定し、キャラクターのコンセプト案を作成
【後期】 21～24回目	自分がV-Tuberとして活動することを想定し、企画を立案
【後期】 25～27回目	演者としてのトークスキルを様々なワークやゲームを通して楽しく身につける 「Illustrator 基本操作」図形・柄・複製 等。
【後期】 28～30回目	演者としてのトークスキルを様々なワークやゲームを通して楽しく身につける 「Illustrator 基本操作」図形・柄・複製 等。
【後期】 31～34回目	1年間トータル復習・確認 ■後期試験：バラエティゲームなどをしながら、演者としてのトークスキル、コミュニケーション能力、求められる考え方を見る
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「自分をアピールする能力 / 聞き役としての能力 / 長く活動していけるような考え方」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	画面の中で活動するとしても、求められるのは結局、人間力です。愛される人、応援される人を一緒に目指しましょう。
備考	100円ショップの物など安いもので良いので、有線イヤホンを準備してください。授業中の動画編集作業で使用します。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画配信実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル(ネットシンガー専攻)				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	俳優歴8年。舞台、CM、ドラマ等多数出演。また所属劇団の広報用映像の制作、編集を自身で行うと共に、ゲーム会社のCM編集、YouTuberの動画編集の依頼を受けるなど映像クリエイターとしても活動。その経験を活かし実践指導を行う。				
授業概要					
インターネット上で活動するための撮影、動画編集(Premiere Pro)などを学ぶ					
到達目標					
・動画配信に必要な知識と技術を学ぶ。					
・各種機材及び映像作成時に気を付けるべきポイントを学ぶ。					
・動画作成ソフトでの編集技術を身につける。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ソフトウェアPremiere Proの基本操作 動画素材の基本編集操作を学ぶ
【前期】 4～7回目	ソフトウェアOBSの基本操作 配信環境の基本操作技術を学ぶ
【前期】 8～10回目	ソフトウェアPremiere Proの応用操作 動画素材の応用編集操作を学び、動画を作り上げていく
【前期】 11～13回目	ソフトウェアOBSの応用操作 配信環境の応用操作技術を学び、配信のシミュレーションを行う
【前期】 14～17回目	前期の復習・確認 ■前期試験: 簡単な動画コンテンツを1つ作成する
【後期】 18～20回目	バーチャルモデルの作成
【後期】 21～24回目	バーチャルモデルを使用したコンテンツの作成
【後期】 25～27回目	自分のアイデアを元に動画コンテンツの企画を立案
【後期】 28～30回目	自分で企画したものを撮影
【後期】 31～34回目	1年間トータル復習・確認 ■後期試験: 自分の強みが活かされる動画コンテンツを1つ完成させる
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「演者としてのコミュニケーション能力 / 基礎的な動画編集能力 / 自己プロデュース能力 / 企画から完成品納品までの自己管理能力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分一人のアイデアや頑張りで大きなチャンスを掴める世界です。一緒に頑張りましょう！
備考	100円ショップの物など安いもので良いので、有線イヤホンを準備してください。授業中の動画編集作業で使用します。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	・セイカ食品 シロクマ、ヴァーナル化粧品、アサカワ引越しセンター等のテレビCMコール ・シンガーソングライターとして、精力的にライブ活動を行い、CDもリリースしている。				
授業概要					
基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
・エンターティメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。					
・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。					
・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。					
・チームワーク、協調性を養います。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作り上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	・セイカ食品 シロクマ、ヴァーナル化粧品、アサカワ引越しセンター等のテレビCMコール ・シンガーソングライターとして、精力的にライブ活動を行い、CDもリリースしている。					
授業概要						
オリジナルワークⅡ同様、基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いに接続しながらより良い制作の方法を考えることに重点を置きます。						
到達目標						
・オリジナルワークⅡでの内容を更に応用し制作していきます。						
・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。						
・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。						
・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。						
・チームワーク、協調性を養います。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作り上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	